BESエディタ

BESエディタを使用すると、BESファイルの新規作成、既存のBESファイルの読み込み、編集、保存が可能です。

F2キーまたはSpace-m(1-3-4)を押すと、BESエディタのメニューにアクセスできます。メニュー項目にはファイル、読み上げ、編集の3つのメニューがあり、Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでそれらを移動してEnterで実行できます。

# 1 ファイル

ファイルメニューには以下の項目があります。

## 1.1 新規作成

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-n(1-3-4-5)を押して実行します。新しい文書を作成します。

## 1.2 開く

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-o(1-3-5)を押して実行します。既存のBESファイルを開く際に使用します。フォルダやファイルの移動にはSpace-4またはSpace-1を使用します。CtrlキーまたはAltキーを使用することもできます。一つ上の階層へ移動するにはBackspaceを、選択したドライブやフォルダに入るにはEnterを押します。目的のBESファイルに移動して、開きたい場合にはそのままEnterを押すか、F3キーで確認ボタンに移動してEnterを押します。キャンセルする場合には、F3キーで取り消しボタンに移動してEnterを押します。

## 1.3 上書き保存

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-s(2-3-4)を押して実行します。

なお、新規ファイルでこの項目を選択すると、名前をつけて保存のダイアログが表示されます。

## 1.4 名前をつけて保存

この項目を選択してEnterを押すか、Space-s(2-3-4)を押して実行してください。名前を付けて保存のダイアログが表示されます。

名前を付けて保存ダイアログは「レイアウトを選択する」コンボボックス、「ファイル名」エディットボックス、「保存」ボタン、「取り消し」ボタン、「参照」ボタンで構成されています。それぞれの項目はF3またはSpace-F3で切り替えることができます。

レイアウトを選択するコンボボックス

以下の五つの選択肢からレイアウトを選択します。

・18マス18行

・20マス20行

・28マス22行

・32マス18行

・32マス22行

ファイル名エディットボックス

ファイル名のエディットボックスには、ファイルのパスとファイル名が表示されます。既存のBESファイルを開いた場合にはそのファイル名が、新規作成時には例えばBES20200910\_120356.besのような形式でファイル名が表示されます。ファイル名を編集する場合には、Space-3またはSpace-6で文字を移動しながら編集します。

保存ボタン

Enterを押して実行すると、設定した内容で保存します。

取り消しボタン

Enterで実行すると、保存をキャンセルします。

参照ボタン

ファイルの保存先を変更したい場合にはこの項目でEnterを押して変更します。

## 1.5 閉じる

この項目を選択してEnterを押すか、Space-z(1-3-5-6)を押して実行します。BESエディタを終了します。

# 2 読み上げ

読み上げメニューには以下の項目があります。

## 2.1 先頭からカーソルまで読み上げ

この項目を選択するか、Backspace-g(1-2-4-5)を押すと、先頭から現在のカーソル位置の前の文字までを読み上げます。

## 2.2 カーソルから最後まで読み上げ

この項目を選択するか、Enter-g(1-2-4-5)を押すと、現在のカーソル位置から最後までを読み上げます。

## 2.3 現在の行を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-4を押すと、現在フォーカスのある行を読み上げます。

## 2.4 現在の単語を読み上げ

この項目を選択するか、Space-2-5を押すと、現在フォーカスのある単語を読み上げます。

## 2.5 現在の文字を読み上げ

この項目を選択するか、Space-3-6を押すと、現在フォーカスのある文字を読み上げます。

## 2.6 カーソル位置を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-5-6を押すと、現在のカーソル位置に関する情報を読み上げます。

# 3 編集

編集メニューには以下の項目があります。

## 3.1 ブロック選択開始

この項目を選択するか、Enter-b(1-2)を押すと、フォーカス位置をブロックの先頭位置に設定します。

## 3.2 コピー

この項目を選択するか、Enter-c(1-4)を押すと、選択されたブロックをコピーします。

## 3.3 すべて選択

この項目を選択するか、Enter-a(1)を押すと文書全体を選択した状態になります。

# 4. BESファイル読み込み時や編集時の操作

行移動はSpace-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーで行います。スクロールキーで読み進めることもできます。ただし、ページ行には移動できません。

文字移動にはSpace-3またはSpace-6を使用します。目的の文字の上のタッチカーソルキーを使用して移動することも可能です。編集時は、Enterを押すと改行します。

# 5. ページヘッダ

新規でBESファイルを作成して保存すると、選択したレイアウトでページ番号が付記されます。既存のBESファイルを読み込んだ場合には、それが反映されます。ただし、いずれの場合にもページ行の確認や編集はできません。